



【コンセプト】

失敗学とは、過去に起きた失敗の原因を究明し、防止策を検討、実行することで、未来の失敗を減らしていくことを目的としたものです。失敗への対応を精神論に終わらせず、科学的なプロセスを経て具体的な防止策につなげていく失敗学の詳細について学びます。

失敗学の奥義は「人の振り見て我が振り直せ」です。自ら失敗をして覚えることも少なくないですが、全ての失敗をするわけにはいきません。また、他人の失敗ならば冷静に判断できるものもあるはずですが、ただ、他人の失敗から我が身を正せる人は少ないのも事実でしょう。

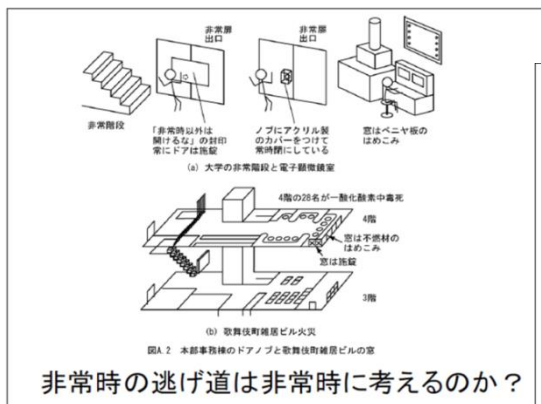
第1回の講義では、失敗学の奥義や精神など全体の概要を示すとともに、2000年代以降に変化してきている日本の社会の失敗に対する認識について解説します。また、第2回の講義では、工学・設計関連、第3回の講義では、ソフトウェア・組織関連における失敗学の実際の取り組みについて紹介します。第4回の講義では失敗の根本的な原因を突き止めるために必要不可欠な「要求機能」を認識することの大切さを学びます。

(講義時間 合計4時間)

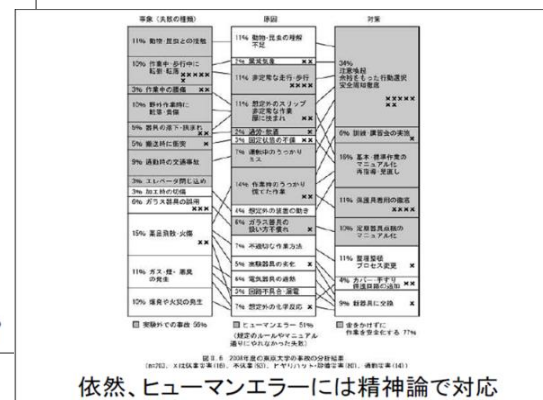
【テーマ】

- 第1回 失敗学の導入
- 第2回 失敗の実践1
(工学・設計関連)
- 第3回 失敗の実践2
(ソフトウェア・組織関連)
- 第4回 失敗学の展開

【講義資料より】



非常時の逃げ道は非常時に考えるのか？



依然、ヒューマンエラーには精神論で対応